

『宝くじオータム・コンサート』伊賀市合併2周年記念 三枝成彰・羽田健太郎のおしゃべり音楽館



【と き】 10月9日 (月・祝) 開場／17:30

開演／18:00

【ところ】 伊賀市文化会館



宝くじは、広く社会に
役立てられています。

【入場料】 (消費税込) 全席指定

大人 2,500円 (当日3,000円)

高校生以下1,500円 (当日2,000円)

- ・宝くじの助成により、通常料金の約半額となっています。
- ・前売りで完売した場合は、当日券はございません。
- ・未就学児の同伴および入場はご遠慮ください。

【入場券前売所】 ※前売券を発売しています。

伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、青山ホール、あやま文化センター、サワノ楽器店、ジャスコ伊賀上野店、伊賀上野ケーブルテレビ(株)、JAいがほくぶ旅行センター、岡森書店白鳳店、ブックスアルデ近鉄店、チケットぴあ、ローソンチケット

【問い合わせ】

本庁文化国際課 ☎22-9624 伊賀市文化会館 ☎24-7015



気づき見つめなおすとき (後編)

「もう、部落差別なんてないんじゃない」という声を聞く事があります。でも、それは表面的な姿しか見ずに言っている事だと思えます。

例えば、ビールカーに入った泥水を飲んでと言われても誰も飲まないでしょう。でも、この泥水は一時間もたつと下に沈殿して、上だけ見れば綺麗な水に見えます。飲む

んじゃないかと思うけど、飲んだら大変です。この泥水が知らず知らずに私たちの中にすり込まれた差別意識だと仮定してください。それは、世間体を気にして生きる自分であり、冠婚葬祭の中で「一般常識」として刷り込まれている「いえ」意識や「ケガレ」意識、六曜など、いろんなものがあります。

人権教育や人権啓発とは、このビールカーの水をかき混ぜる作業ではないでしょうか。小さな力でもいい、かき混ぜているとやがては対流が起り、下の泥がフワッと浮き上がってきて、ビールカーがにごってきます。人権啓発の研修を受ければ受けるほど、差別が何か見えてきて、自分の中にあつた差別意識に気づく事になります。私自身も、そんな自分の中のどろどろした部分に気づき

明日 に向かって

～差別をなくしていくために～

「こんな自分じゃだめだ」と、その泥を少しずつでも取り除いていきたくて考えています。

私の友人は、結婚を両親に反対され、いまだに自分の両親に会えず、孫の顔も見せる事ができないそうです。いざ、現実に結婚などで部落問題に直面したとき、沈殿

していた泥が浮き上がってきた。だからそんな事が起こらないように、どんどんビールカーの泥をかき混ぜて、その泥を取り除いて、そこに綺麗な水(心)を注いでいかなければなりません。「差別はする側も、される側も不幸になってしまうもの」だと私はその友人の結婚差別を通して学びました。私が今できる事は、相

手が差別意識を持っていると感じたときは、迷わず一緒に差別について話し、考え、差別から自分も含めて解放していく事です。

まず、いろんな人権の研修会や講演会に参加してみてください。私たちの中に刷り込まれていた偏見や差別意識が見えて来ます。そして、家庭・地域・職場で一緒に考え、偏見や差別意識をなくす一歩を身近なところから始めて行く事が大切です。

■このコラムは毎月1日号でいろいろなテーマで人権についてお話しています。

ご意見等は本庁人権政策課 ☎22-9631 E-mail : jinken@city.iga.lg.jp へ